

令和4年9月30日

報道各位

茨城県農業協同組合中央会
農政広報部

「JAグループ茨城×いばらきコープ」イバライガー応援企画

イバライガーも「IBARAKI^{マイ}米de 元気 Weeee k !」イベントのご案内について

JAグループ茨城は、令和4年9月理事会決議を踏まえ、全国の「『国消国産』JAグループ統一運動」と連携を図りながら『地産地消』の県民理解醸成運動の方針を決定しました。

10月16日は、昨年JA全中が「国消国産の日」として記念日登録した日で、この記念日のある10月は、集中期間としてキャンペーンイベントを断続的に実施いたします。

つきましては、令和4年10月9日にプレイベントを実施いたしますので、ご案内申し上げます。

「JAグループ茨城×いばらきコープ」イバライガー応援企画

イバライガーも「IBARAKI^{マイ}米de 元気 Weeee k !」イベント (10/9)

【場所】ポケットファームどきどき茨城町店 風のドーム
茨城県東茨城郡茨城町下土師字高山 1945

【10:30】報道受付

【11:00】開会

挨拶 JA 茨城県中央会 代表理事会長 八木岡 努
いばらきコープ 組合員理事 小島 正代

【11:05】JAグループ茨城 八木岡会長よりイバライガーへ新米贈呈

【11:08】食のアンケート協力者へJAグループ茨城・いばらきコープ（親子参加者）による野菜詰め合わせ袋(人参・たまねぎ・甘藷)先着50名様、新米「ふくまる」300g袋を先着各50名様に無料配布
イバライガー、ミニライガー、隊員との撮影会

【11:30】閉会



国消国産とは

「国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産する」という考え方で、JAグループでは、食と農を未来につなぐ「国消国産（こくしょうこくさん）」を提起しています。

「10月16日」は、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日で、1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日ですが、これにあわせ、JA全中が令和3年、当該日を「国消国産の日」として制定し、日本記念日協会に登録しました。

日本の食料自給率はわずか37%です。このまま食料を海外に頼り続けたらどうなるでしょうか。その国の人々にとって必要な食料が不足してしまうかもしれません。

また、異常気象やコロナ渦、世界情勢によって食料価格が上がり続けています。国消国産、地産地消をすすめることは

持続可能な食料、農業、環境などSDGsの達成に貢献します。

問い合わせ先

J A茨城県中央会農政広報部（山田、新井）029-232-2074

イバライガー応援企画

JA グループ茨城 × いばらきコープ

イバライガーも IBARAKI^{マイ}米 de 元気 Weeeek!



大きな粒で うま味ふくらむ

応援企画①

アンケートにお答えいただいた方に
・茨城の美味しい野菜詰め合わせセット
・茨城県産新米「ふくまる」300g袋を
それぞれ先着50名様に無料配布!

応援企画②

IBARAKIのヒーロー
イバライガー・ミニライガーとの
写真撮影会を行います!



2022.10.9 (日) 11:00 ~ 11:30

ポケットファームどきどき茨城町店

茨城県東茨城郡茨城町下土師字高山 1945

イベント会場：風のドーム (右のマップF)

